

速報 2月号 NO. 472

編集・発行 一般社団法人広島県臨床検査技師会
事務所 FAX 082-502-6031
発行日 令和 8 (2026) 年 2 月 1 日 発行

Hiroshima Association of Medical Technologists

一般社団法人広島県臨床検査技師会



ホームページ <http://www.hiroringi.or.jp/>



| | |
|---------------------------------------|----|
| 【お願い】会員表彰の推薦について | 1 |
| 【告示】令和 8・9 年度一般社団法人広島県臨床検査技師会役員改選について | 5 |
| 令和 8・9 年度 学術部門員募集 | 6 |
| 令和 7 年度 第 45 回 広島県臨床検査精度管理向上研修会 | 8 |
| 【お願い】呼吸機能検査に関する実態調査アンケート | 9 |
| 【報告】第 58 回日臨技中四国支部医学検査学会 | 10 |
| 【報告】令和 7 年度 レッドリボンキャンペーン in 広島 | 11 |
| 【報告】令和 8 年新春祝賀会 | 12 |
| 研修会 | 14 |

【お願い】会員表彰の推薦について

広臨技 表彰審査委員会

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。また、平素より当会事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

(一社) 広島県臨床検査技師会では、会員の研究意欲の高揚と資質の向上を図る目的で、優秀な論文に学術業績者賞、学術活動に功績のあった会員に学術奨励賞、技師会活動に顕著な功績のあった会員に功労賞の表彰制度を設けています。下記各賞に該当する会員を推薦して頂けますようお願い申し上げます。尚、表彰規定に則った、学術業績者表彰に該当する候補者一覧を添付いたします。

【各賞について】広臨技 組織運営規定の表彰規定より

学術業績者……第 4 条 学術業績者とは、「医学検査」(表彰日の前年度に発刊された第 1 号から第 12 号までのもの) 又は当会会誌(表彰日の前年度に発刊されたもの)に学術論文を掲載された者であって、特に優秀と認められた者をいう。

学術奨励者……第 5 条 学術奨励賞とは、当会学術部活動を通じて、特に顕著なる実績と活動が認められた者、並びに、当会地区活動及び県学会各種研究会等に積極的に参加して臨床検査技師の模範となりうる活動をした会員であって、次のいずれかの基準を満たす者をいう。ただし、在任中の理事は除くものとする。

- (1) 広島県の学術活動に貢献した者
- (2) 各種関連学会、研究会等及び地区活動を積極的に運営し、臨床検査技師の資質の向上に貢献した者

功労者…………第6条 功労者とは、次の基準を満たす者をいう。

- (1) 当会会員歴が、通算して30年以上ある者
- (2) 表彰を受ける年の12月末日をもって満55歳以上ある者
- (3) 当会役員歴が、通算して10年以上ある者

特別表彰者…………第8条 特別表彰者とは、第4条から第7条のほか、当会の発展に顕著な功績があつた者で、表彰審査委員会において特に表彰を認めた者をいう。

被表彰資格…………第9条 被表彰者は表彰日の前年度の3月31日に当会の会員であること

【推薦状提出締切日】 令和8年2月11日（水）

【提出・問い合わせ先】(一社)広島県臨床検査技師会 表彰審査委員会 川西なみ紀

地方独立行政法人広島県立病院機構 県立二葉の里病院 臨床検査科 TEL: 082-262-1171

Email: namiki.7.16@gmail.com【件名:会員表彰推薦】でお願いします

令和7年度 学術業績者賞 対象者

対象: 医学検査 2025Vol. 74 No. 1～No. 4 および広島臨床検査 2025Vol. 14への論文投稿者

●医学検査 2025 Vol. 74 No. 1

超音波検査で経時的な画像変化を観察できた黄色肉芽腫性胆囊炎の1例

公立学校共済組合中国中央病院 廣井 綾子

●広島臨床検査 2025 Vol. 14 (令和7年12月発行)

血液培養ボトル内容液を用いたディスク拡散法による薬剤耐性迅速報告と臨床的有用性

労働者健康安全機構 中国労災病院 津田真莉子

慢性中耳炎患者からStreptomyces cacaoi を検出した一例

福山市民病院 金尾 柚葉

甲状腺機能異常を呈したirAEの一例

広島大学病院 安井 歩実

凝固波形解析の波形がアドバイスサービスにつながった一症例

広島大学病院 入江明日花

血小板衛星現象を認めたEDTA 依存性偽性血小板減少症の2症例

地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立北部医療センター安佐市民病院 柳田野乃佳

組織片が追加された大腸洗浄液から赤痢アメーバを認めた2症例

地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院 木嶋 亮太

長時間ビデオ脳波モニタリングが診断と治療に有用であった妊娠後期てんかん重積状態の一例

広島大学病院 野崎 晶太

僧帽弁輪石灰化に合併した感染性心内膜炎の1例 -心臓超音波検査を中心に-

公立学校共済組合中国中央病院 松井 愛良

推 薦 状

令和8年 月 日

推薦者

施設名

氏名 _____ 印 _____

推薦する賞

令和7年度（一社）広島県臨床検査技師会表彰

功勞賞 學術獎勵者賞 特別表彰

被推薦者

施設名 :

氏 名 :

推薦理由

以上

推 薦 状

令和8年 月 日

推薦者 施設名 _____
 氏名 _____ 印 _____

推薦する賞 令和7年度（一社）広島県臨床検査技師会表彰
学術業績者賞

対象論文

被推薦者 施設名 _____
 氏 名 _____

推薦理由

以上

【告示】令和8・9年度一般社団法人広島県臨床検査技師会役員改選について

一般社団法人広島県臨床検査技師会

役員推薦委員長 佐藤 知義

令和8年度は役員の改選期となりますので、役員候補者選出規定第9条により、理事又は監事の立候補の届け出を、下記の役員推薦委員によって告示します。

1. 役員推薦委員名簿（任期令和8年6月30日まで）

| | | |
|-----|--------|--------------------|
| 委員長 | 佐藤 知義 | 庄原赤十字病院 |
| 委員 | 関藤 真由美 | 広島市立北部医療センター安佐市民病院 |
| | 山下 美香 | 広島赤十字・原爆病院 |
| | 渡川 美弥子 | 広島市医師会臨床検査センター |
| | 能美 伸太郎 | 呉共済病院 |
| | 本田 由香 | 賀茂医療センター |
| | 中宮 茂雄 | 三原赤十字病院 |

2. 届け出期間：令和8年2月1日（日）～14日（土）まで

3. 届け出に必要な提出書類

① 届け出用紙

② 所属長又は施設長の同意書

（注）届け出に関する問い合わせ、必要書類は役員推薦委員まで連絡してください。

なお、届け出用紙は広臨技事務所が用意します。

令和8・9年度 学術部門員募集



学術部門員募集



平素は、広臨技の活動におきましてご協力ありがとうございます。

令和8・9年度の学術部門員を募集します。募集要項を確認の上、奮ってご応募ください。

全部門で新規部門員を大募集しておりますが、特に、下記部門（部門員の任期満了者が多く改編時期）をご担当の皆様、一緒にステップアップしていきましょう。

【遺伝子・染色体部門】

部門を問わず遺伝子検査の重要性は高まるばかりですが、一緒にスキルアップしませんか？

病理細胞、微生物、血液、輸血など分野を問わず興味のある方、情報共有していきましょう。

【病理細胞部門】

病理・細胞分野に興味のある皆さん、知識の向上・スキルアップを目指して一緒に学術活動しませんか。若手の方も、意欲のある方も大歓迎です。病理細胞部門と一緒に盛り上げていきましょう。

【選任に関して】

各部門長および学術部長の推薦後、理事会の承認をもって選任されます。

運営上の都合により応募者全員が選任されるとは限らない事をご了承ください。

【申込方法】

日臨技生涯教育研修履修証明書（日臨技HPの会員情報・行事履修歴/証明書・履修証明書PDFボタンよりダウンロード）あるいは生涯教育修了書のコピーと下記申込用紙を同封の上、下記の申込先に郵送にて申し込みください。

注) 生涯教育研修報告書については、基礎教科60点以上+専門教科140点以上=200点以上に満たない場合も、必ず同封してください。選考の際、参考資料とさせていただきます。

【締切】令和8年3月31日 火曜日 消印有効

【申し込み先】

〒730-0013

広島市中区八丁堀6-10 グレイスビル801号

一般社団法人広島県臨床検査技師会

令和8・9年度 学術部門員応募係

[TEL:082-502-6011](tel:082-502-6011)

問い合わせ先：広島市立北部医療センター安佐市民病院 河野浩善

TEL: 082-815-5211 (内線4037)

E-mail: kounodesukedo@yahoo.co.jp

令和8・9年度 学術部門員 応募用紙

| | | | |
|------------|--|------|--|
| ふりがな | | | |
| 氏名 | | | |
| 所属施設 | | | |
| 所属施設住所 | | | |
| 連絡先 | TEL: | FAX: | |
| E-mail: | | | |
| 技師歴 | 年 | | |
| 希望領域 | 希望の領域に○をしてください。 (1つのみ) 1.生物化学分析部門 4.臨床微生物部門 7.染色体・遺伝子部門 2.臨床一般部門 5.輸血細胞治療部門 8.臨床生理部門 3.臨床血液部門 6.病理細胞部門 9.臨床検査総合部門 | | |
| 現在担当している検査 | | | |
| 応募理由 | | | |

| | | | |
|---|---------|--|--|
| 所属長の許可 | | | |
| 学術部門員に選出された場合は、広島県臨床検査技師会学術活動への参加を許可する。 | | | |
| 氏名 | 印 _____ | | |

応募条件 **1または2を満たし、3の許可が得られたもの**

1. 生涯教育修了者（注1）または生涯教育修了書取得者（5年以内の取得）
 注1) 基礎教科60点以上+専門教科140点以上=200点以上

2. 研修会・学会での発表経験者（学会は問いません。発表未経験の場合は研修会名・学会名の欄に【無し】を記入

| 研修会名・学会名 | 発表演題名 |
|----------|-------|
| | |

3. 選任後、円滑に技師会活動に参加していただくために所属長（技師長あるいは直属の上司）の許可が必要です

令和7年度 第45回 広島県臨床検査精度管理向上研修会

【日 時】令和8年3月15日（日）13：30～16：30

【場 所】広島県医師会館 1階ホール・Web併用

- ・ 第53回精度管理調査結果の評価・解説

(1) 生化学・免疫：松川 裕司 技師（広島大学病院）

(2) 血 液：塔村 亜貴 技師（広島赤十字・原爆病院）

(3) 輸 血：黒島 真太郎 技師（県立二葉の里病院）

(4) 尿 定 性：渡邊 隆徳 技師（安佐市民病院）

(5) フォトサーベイ

(一 般)：渡邊 隆徳 技師（安佐市民病院）

(病 理)：森 智紀 技師（広島大学病院）

(細 胞)：和田 弘輝 技師（福山医療センター）

(血 液)：河野 浩善 技師（安佐市民病院）

(生 理)：中迫 祐平 技師（広島赤十字・原爆病院）

(微 生 物)：池田 光泰 技師（JA広島総合病院）

(6) 遺 伝 子：渕田 比呂志 技師（広島赤十字・原爆病院）

- ・ 特別講演

「当院における新型コロナ後遺症外来の実際」

吉島病院 総合内科・総合診療科 医長 岸川 暢介 先生

【生涯教育点数】基礎 20 点

【申し込み方法】

参加を希望される方は、下記 URL よりお申込み下さい。

後日 Web 受講用の招待メールをお送りします。

https://www.hiroshima.med.or.jp/forms/2026/0315_clinical/

【申込期限】

令和8年2月20日（金）17時まで

【問い合わせ先】

広島大学病院 森本 隆行（メールアドレス：tm1207@hiroshima-u.co.jp）

【お願い】呼吸機能検査に関する実態調査アンケート

この度、広島県臨床検査技師会 生理検査部門におきまして、「呼吸機能検査における実態調査アンケート」を企画いたしました。つきましては、アンケートの趣旨にご賛同の上、多くの会員の皆様にご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【アンケートの趣旨】

近年、ISO 15189 認定取得の普及に伴い、生理検査分野における精度管理の意識が高まっており、ISO 15189 認定取得の有無にかかわらず、精度管理は常に行われなければなりません。特に、呼吸機能検査の精度管理は、検査結果の信頼性を担保するために重要です。精度管理の不備は、患者の不利益（診断の遅延や誤診、不適切な治療など）につながりかねません。現在、広島県における精度管理の実情につきましては、十分に把握されていない状況です。そこで、今回のアンケート調査を実施することで、検査現場の実態を明らかにし、精度管理の改善につなげたいと考えております。

【目的】

広島県内における呼吸機能検査の現状を把握し、県内の呼吸機能検査精度の質向上につなげること。

【対象施設】

広島県内全ての施設（会員施設）

※呼吸機能検査を行っていない施設含む

【実施期間】

2026/2/1～2026/3/10

【アンケート方法】

呼吸機能検査に関する実態調査アンケート - フォームに記入する

※各施設の代表者の方 1名にご入力いただきますようお願い申し上げます。

※ご回答いただいた内容の集計結果につきましては、今後の研修会や学会等での報告、ならびに論文投稿等に活用させていただく場合がございます。その際には、個人や施設が特定されることのないよう、十分に配慮の上で取り扱わせていただきます。何卒よろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

広島県臨床検査技師会 生理検査部門員 岡野典子
広島大学病院 電話：082-257-5547（生体検査部門受付）
メールアドレス：nokano@hiroshima-u.ac.jp

【報告】第58回日臨技中四国支部医学検査学会

令和7年11月29日(土)・30日(日)の2日間にわたって、第58回日臨技中四国支部医学検査学会が高知県の高知市文化プラザかるぽーとで行われました。2日間とも晴天に恵まれ多くの人たちが会場に足を運んでいました。今回のテーマは「次世代への架け橋～人・知・技・・・そして未来へ～」でした。AIなどの技術が発展する中で、臨床検査技師としてどれだけ医療や臨床検査に貢献できるのかを考える機会となりました。

文化講演では、「ハシビロコウの適正飼育と繁殖生理の解明を目指して～ささとカシシのペアリング～」というテーマでご講演をしていただきました。飼育下での繁殖は3例しかない中で、観察と記録を積み重ねながら試行錯誤していく姿がとても印象的でした。限られた情報から、最良な判断を導き出そうとする姿勢は、私たちが検査の場で稀な症例に向き合う際の考え方と重なり、多くの方が共感されたのではないでしょうか。

教育講演では、「光で診て、光で治す～Photo-Theranostics Era～」というテーマでご講演をしていただきました。筋層非浸潤性膀胱癌(NMIBC)について、経尿道的膀胱腫瘍切除術(TURBT)の術後早期の膀胱内再発率が高いことが長年の課題であったことに対し、2017年にNMIBCに対するTURBTの術中診断薬として、5-アミノレブリン酸

(5-ALA)が薬事承認されました。5-ALAによって癌細胞に集積されたプロトポルフィリンIX(PpIX)を蛍光として可視化することで、微小な癌を取り残すことなく手術を行うことが可能となりました。またこの特性を活かし5-ALAを投与し、特定の波長の光を当て、癌細胞を弱らせる治療や尿中に排泄される物質から癌を発見する新しい医療への応用が期待されているそうです。今回の講演を拝聴し、医療は日々大きく進歩していることを改めて実感しました。その変化に置いていかれないよう、私自身も日々学び続ける努力をしていきたいと思いました。

一般演題やシンポジウムでは、様々な先生方が症例などを発表してくださいり、なかなか普段の業務の中では出会えないものが多く、検査データの読み取り方の工夫などたくさん学ぶことができました。また他施設の取り組みに触れることで、自身の業務を見直す良い機会となりました。

今回の学会を通して、稀な症例に対する記録や情報共有を丁寧に行うこと、新しい技術や知識に積極的に触れ続ける姿勢など、明日から実践できることが多く見つかりました。学んだことが次世代へ少しでも貢献できるよう、日々の業務に取り組んで参りたいと改めて感じました。

(広報部 新川 帆望)



【報告】令和7年度 レッドリボンキャンペーン in 広島

令和7年12月6日（土）に広島市中区新天地アリスガーデンでレッドリボンキャンペーンが開催されました。12月初旬ということもあり天候が心配されていましたが、お天道様に恵まれ冬とは思えないくらいのポカポカ陽気でした。

WHO（世界保健機関）は12月1日を「世界エイズデー」と定めています。広島県でもエイズに関する正しい知識を知つてもらうべく「U=U 知ることから、もう一度」を合言葉に啓発活動を行いました。この合言葉は Undetectable(検出限界値未満)=Untransmittable(HIV 感染しない)を略したもので、治療によってウイルス量が検出できない程度に抑えられている HIV 陽性者からは、他者へ感染することがないと確認されているという意味です。

啓発ブースではクイズやレッドリボンシールを使ったクリスマツリーの飾り付けを設けました。クイズに親子で一緒に挑戦されていた方や、クリスマツリーにシールを貼った後にお友達と一緒にツリーの前で写真を撮っている人もいました。



その他にパンフレットを配布し、あおぞら健診・内科クリニックで行っている無料簡易検査の案内も行いました。ここで力を発揮してくれたのがボランティアで参加された広島国際大学、山陽女子短期大学の学生さんでした。明るく素敵な笑顔で街頭での啓発活動を積極的にしていただきました。そのおかげか、検査会場では待ち時間が発生するくらいの人数の方々に足

を運んでいただきました。検査を受けられた方の中には「今回、検査を受けてよかったです。」と笑顔で会場を後にされていました。



筆者がボランティアに参加して感じたことは、若者の間で少しづつエイズに対する正しい知識が広まり始めていることでした。パンフレットを受け取った時に「エイズでもきちんと薬を飲めば人にはうつらんのでしょうか？」と友達同士で話していた方が印象深かったです。今日に至るまでエイズに対する正しい知識を広めようと活動をされてきた先人の方の努力の賜物なのだと思います。

エイズの発症を防ぐためには早期発見・治療が大切です。そのためにはまず検査を受けていただくことが重要です。また、エイズに感染しないように予防することも非常に大切です。少しでも多くの人にエイズに対する正しい知識を知つてもらうために、今回のような活動を継続していきたいと思いました。

最後に今回の活動にご協力いただきました広島市健康推進課、広島市保健センター、広島県健康危機管理課、NPO法人りょうちやんず、あおぞら健診・内科クリニック、県立広島大学、広島県臨床検査技師会によるスタッフの皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。

（広報部 河野 淳子）



【報告】令和8年新春祝賀会

令和8年1月17日、一般社団法人広島県臨床検査技師会 令和8年新春祝賀会が、ANA クラウンプラザホテル広島にて開催されました。当日は、多くの会員・賛助会員ならびに来賓の皆様にご参列いただき、新年の門出を祝いました。

本年の新春祝賀会には、広島県臨床検査技師会顧問であり、衆議院議員（元内閣総理大臣）の岸田文雄先生がご出席されることもあり、開場前から会場周辺には県警およびSPの方々による警備が行われ、会場内にはどこか緊張感のある、いつもとは少し違った空気が漂っていました。また、翌18日に天皇盃第31回全国男子駅伝が広島県で開催されることから、ホテル内では大会を控えた選手と思われる方々が、気合の入った表情で行き交う姿も見受けられました。



開会前、県警やSPの皆様に囲まれて岸田先生がご到着された際には、その落ち着いた佇まいと風格に、思わずスーツを整え背筋を伸ばして挨拶をしている自分に気づきました。ちょうどそのタイミングで、隣のエレベーターからジャージ姿のアスリートの皆様が現れ、岸田先生と私たちの間を颯爽と一般通過。まるで一日早い駅伝の街頭応援をしているかのような、不思議な光景となりました。



祝賀会は、有谿副会長および竹野事務局長の進行のもと、樺山副会長による開会の辞、続いて米田会長の年頭挨拶により開会されました。米田会長の挨拶では、岸田先生をはじめとする国會議員の先生方のご尽力により、年末に行われた診療報酬改定において平均3.09%の引き上げ

が決定されたことが報告され、会場からは安堵と期待の入り混じった空気が感じられました。続いて岸田先生よりご挨拶を賜り、「臨床検査は現代医療において欠かすことのできない重要な分野であり、迅速性と正確性が求められている。国民の健康を支える臨床検査技師の皆様の今後一層の活躍を期待している」との心強いお言葉を頂戴しました。さらに、来賓挨拶として一般社団法人広島県医師会 会長 松村先生、賛助会員代表挨拶としてベックマン・コールター株式会社 川田様よりご祝辞を頂きました。その後、中四国臨床検査薬卸連合会 会長代理 森下益義様のご発声により乾杯が行われ、歓談の時間となりました。

歓談が始まると、岸田先生に直接ご挨拶をしたいという会員の皆様が次々と集まり、大テーブルの周囲には長い列が形成されました。その様子は、さながらテーマパークの人気アトラクションの待ち時間を思わせるほどで、岸田先生の人気と存在感を改めて実感する場面となりました。

また、学術部からは 9 部門の代表者より、賛助会員の皆様への日頃のご支援に対する感謝と新年の挨拶が述べられました。終盤に行われた恒例の大抽選会では、ホテルの食事券やギフト券など豪華な景品が次々と紹介され、会場は大きな盛り上がりを見せました。当選された方々からは「今年は運を使い切ったかもしれない」「家

族への良いお土産ができた」といった声も聞かれ、新年らしい和やかな締めくくりとなりました。

最後に、有賀副会長より御礼の挨拶および閉会の辞が述べられ、本祝賀会は盛会のうちに幕を閉じました。会員同士の親睦を深めるとともに、賛助会員の皆様とも意見交換を行うことができ、本年の広島県臨床検査技師会の活動の良いスタートとなる、有意義な会となりました。

(広報部 村田竜也)

| | |
|-----------------------------------|--------|
| 元内閣総理大臣衆議院議員 広島県臨床検査技師会顧問 | 岸田 文雄 |
| 広島県医師会 会長 | 松村 誠 |
| 広島市医師会 会長代理副会長 | 平尾 健 |
| 広島県医師会 常任理事 | 橋本 成史 |
| 日本衛生検査所協会 中国支部支部長 | 近本 陽一 |
| 日本臨床検査薬卸連合会 中国四国臨床検査薬卸連合会 会長代理 | 森下 益義 |
| 広島国際大学 学長代理 保健医療学部長 | 藤原 章 |
| スエヒロサガ国際事務所 司法書士 | 末廣 浩一郎 |
| 広島県臨床検査技師会 名誉会員 | 安松 弘光 |
| 広島県臨床検査技師会 名誉会員 | 谷口 薫 |
| 広島県臨床検査技師会参与 | 板羽 秀之 |



研修会

第3回 臨床微生物部門研修会

【テーマ】今年もやります！部門員経験者の印象深い症例集

【日時】2026年2月4日（水）19：00～20：00

【会場】WEB研修会（配信元：須々井技師自宅）

【内容】19：00～19：20 「日常よく遭遇する感染症（仮）」

JA広島総合病院 主任 池田 光泰 技師

19：20～19：40 「当院で経験した血液培養陽性症例」

広島赤十字・原爆病院 西田 美穂 技師

19：40～20：00 「猿も木から落ちる～微生物検査のピットフォール～」

庄原赤十字病院 第二検査技術課長 辻 隆弘 技師

【リンク先】<https://hiroringi.or.jp/events/event/第三回臨床微生物部門研修会/>

第4回 北部地区研修会

【日時】2026年2月7日（土）14：30～17：00

【会場】三次ワイナリー 研修室

【内容】14：30～15：40 「若手技師のための採血業務における基礎的な注意点
～採血管の取り扱いと検査値への影響について～」

積水メディカル株式会社 検査事業部 カスタマーサポートセンター 学術企画グループ
福田 剛 先生

15：50～16：50 「血液検査の測定原理とピットフォール」

シスメックス株式会社 西日本営業本部 広島支店 学術サポート課

山岡 楓佳 先生

【リンク先】<https://hiroringi.or.jp/events/event/第4回北部地区研修会-2/>

第5回 東部地区微生物研修会

【日時】2026年2月7日（土）15：00～16：30

【会場】福山市民病院 2階講堂

【内容】15：00～16：30 國際医療NGOボランティア活動に参加して 森 三郎 先生
(元国際医療NGO ジャパンハートこども医療センター長期ボランティア臨床検査技師)

【リンク先】<https://hiroringi.or.jp/events/event/【会場開催】第5回東部地区臨床微生物部門研修会/>

第2回 臨床一般部門研修会

【テーマ】奥深い円柱について理解を深めよう

【日時】2026年2月7日（土） 14：00～17：00（受付13時30分～）

【会場】広島市立広島市民病院 10階講堂

【内容】14：00～14：20 尿沈渣スライドカンファレンス-回答編 臨床一般部門員

14：20～14：50 尿分析装置のご紹介 富倉 佑奈 先生（栄研化学株式会社）

14：50～15：00 休憩

15:00～16:00 尿沈渣スライドカンファレンス-解説編 臨床一般部門員
16:00～17:00 円柱について理解を深める～尿検査における円柱出現の意義とは～
長嶌 和子 技師（藤田医科大学病院）

【リンク先】https://hiroringi.or.jp/events/event/2025_年度%e3%80%80第2回臨床一般部門研修会%e3%80%80～奥深い円柱/

第11回 東部地区生理部門研修会

【テーマ】心臓超音波検査を学ぶ
【日時】2026年2月13日（金） 14:00～16:00
【会場】Web研修会（Web配信元：中国中央病院）
【内容】18:30～19:20 心エコーはここから始まる！画像評価の第一歩
松田 浩明 技師（公立学校共済組合 中国中央病院）
19:20～20:10 心臓超音波検査 Visual EF 目合わせ
小野田 裕志 技師（広島大学病院）

【リンク先】https://hiroringi.or.jp/events/event/_web研修会/第11回東部地区臨床生理部門研修会/

第3回 病理細胞部門研修会

【テーマ】化学物質の管理
【日時】2026年2月14日（土）13:00～16:20
【会場】広島大学病院 臨床講義棟 第5講義室
※駐車補助券あり（注：駐車無料券ではありません。）
【内容】12:30～13:00 受付
13:00～13:30 「QRコードを利用したホルマリン管理のススメ（LIVE配信）」
一ノ瀬 宏幸 先生 武藤化学株式会社
休憩(10分)
13:40～14:10 「病院視点からの化学物質の取り組み」
森 智紀 技師 広島大学病院
14:10～14:40 「検査センター視点からの化学物質の取り組み」
藤岡 佑一 技師 株式会社福山臨床検査センター
休憩(10分)
14:50～16:20 「病理部門における化学物質の取扱と管理－安全と法令遵守の視点から」
塚本 龍子 技師 神戸大学医学部附属病院

【リンク先】<https://hiroringi.or.jp/events/event/第3回病理細胞部門研修会/>

第2回 遺伝子検査研修会【広島県委託事業】

【テーマ】新型コロナ感染症 広島大学 感染症科での初期対応
【日時】2026年2月20日（金）18:00～19:30
【会場】WEB開催（配信元：広島大学病院）
【内容】18:00～19:00 「新型コロナウイルスPCR検査の立上げと振返り」
野村 俊仁 先生（広島大学病院 感染症科）
【申込み〆切】2026年2月19日（木）
【ウェビナー参加リンク】
<https://us06web.zoom.us/j/84558516913?pwd=sfoObVTQtNh6vHYJOBbVsEwas6Z7bp.1>
【リンク先】<https://hiroringi.or.jp/events/event/染色体・遺伝子検査部門/>

第12回 東部地区生理部門研修会

【テーマ】心電図目合わせ＆心エコー研修会

【日時】2026年2月22日（日） 14:00～16:00

【会場】Web研修会（Web配信元：中国中央病院）

【内容】14:00～15:00 そのST変化を見逃すな！～急性冠症候群10症例に挑戦～

松田 浩明 技師（公立学校共済組合 中国中央病院）

15:00～16:00 心エコーで心不全を評価する

栗村 尚史 技師（県立広島病院）

【リンク先】<https://hiroringi.or.jp/events/event/> 【web開催】第12回東部地区臨床生理部門研修会/

東広島地区研修会

【日時】2026年2月24日（火） 18:15～19:45

【会場】社会医療法人千秋会 井野口病院 中会議室

【内容】『敗血症とプロカルシトニン』 大崎 修平 先生（積水メディカル株式会社）

【リンク先】<https://hiroringi.or.jp/events/event/東広島地区研修会-12/>

東部地区生物化学分析部門

【テーマ】精度管理の基礎と梅毒の現状と検査・診断・治療について

【日時】2026年2月26日（木） 18:30～19:30

【会場】Web開催

【内容】18:30～19:30 精度管理について

19:00～19:30 梅毒の現状と検査・診断・治療について

講師 平田 悠人 先生（株式会社シノテスト）

【リンク先】<https://hiroringi.or.jp/events/event/> 【web研修会】東部地区生物化学分析部門研修会/



広報部連絡・専用E-Mail < koho@hiroringi.or.jp >

次号速報の原稿〆切は 2月15日です